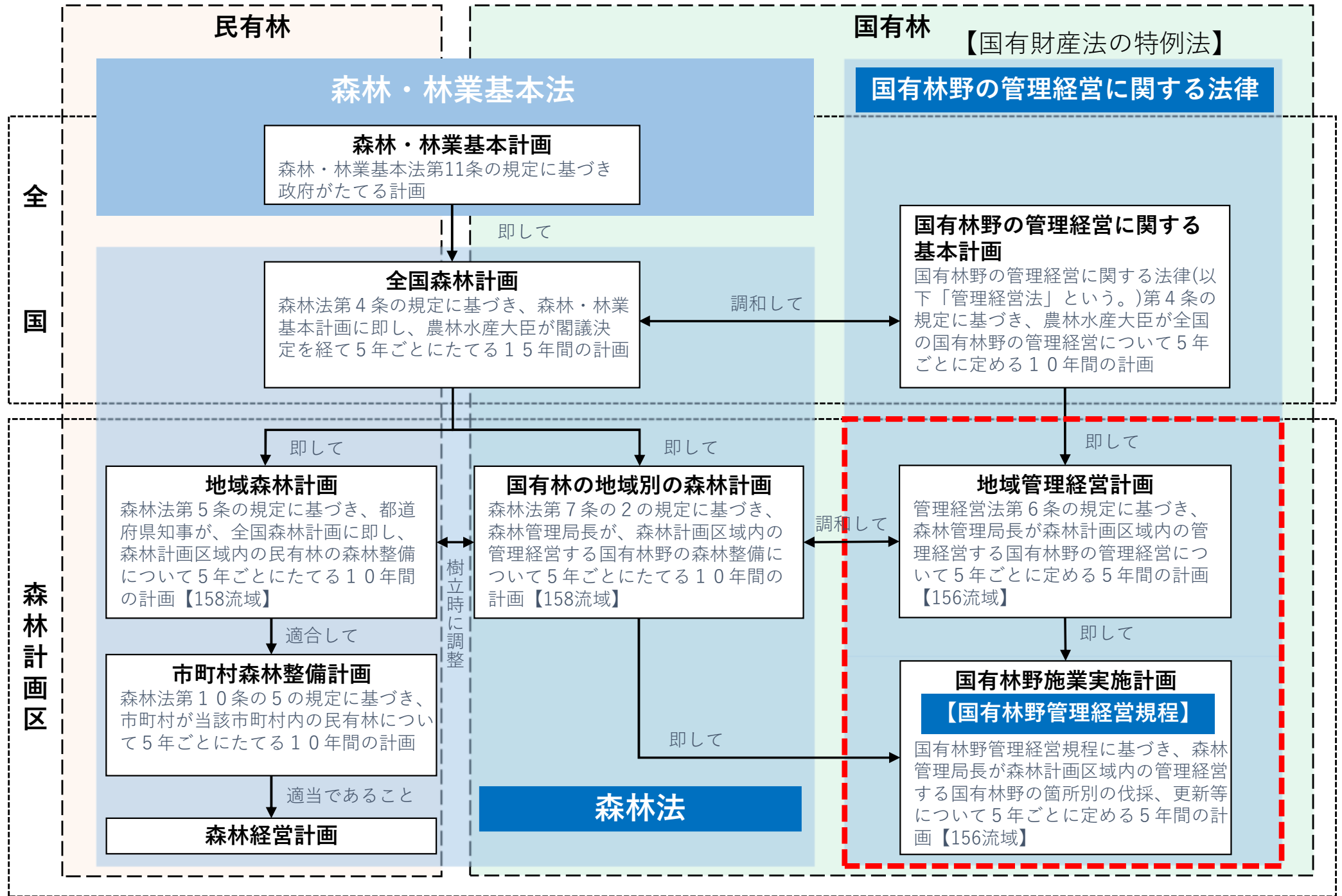


地域管理経営計画等の策定・変更の概要

令和 8 年 3 月

中部森林管理局

国有林の計画制度の体系



1 R7年度に策定する森林計画区



【策定する森林計画区】

・ 中部山岳（長野県）



上高地国有林
(北アルプス・前穂高岳)

・ 長良川（岐阜県）



金華山国有林
(岐阜城と岐阜市)

・ 尾張西三河（愛知県）



闇苅国有林
(闇苅風致探勝林)

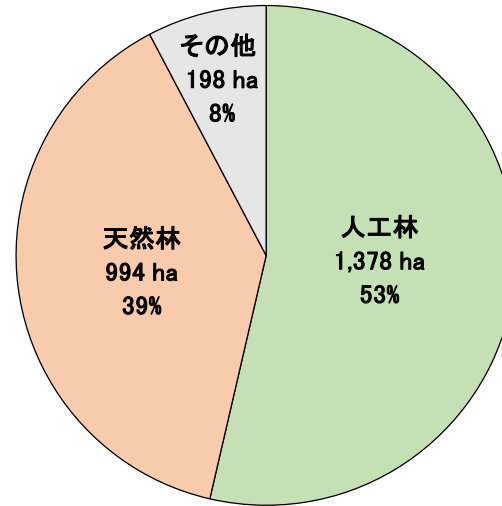
2 策定する森林計画区の概況

長良川（国有林野面積：2,571ha）

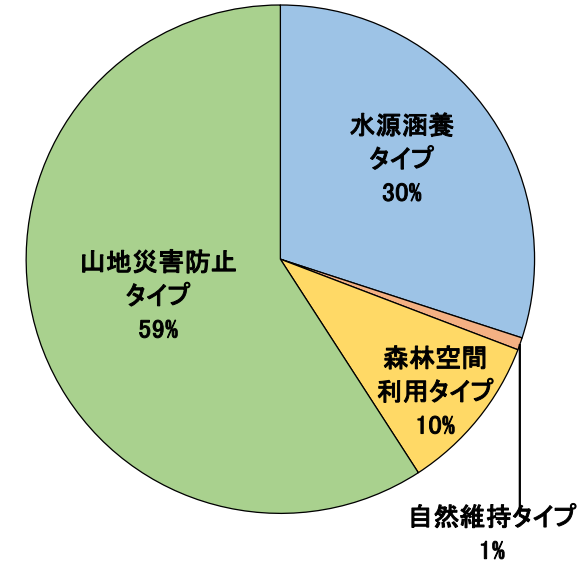
【国有林野の位置】



【人工林、天然林別の面積】



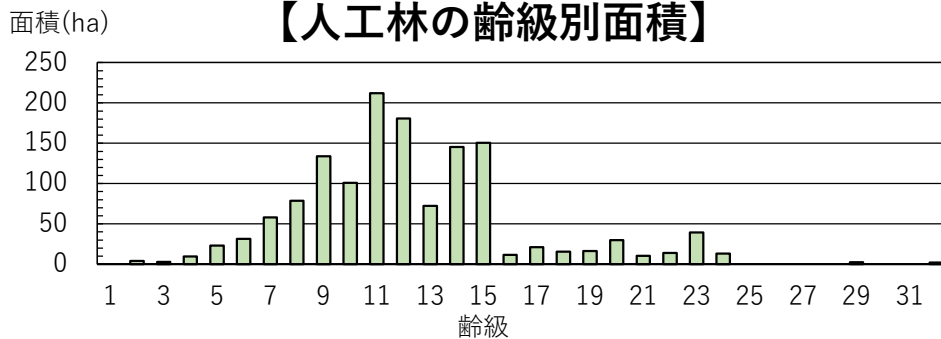
【機能類型別の面積】



【森林計画区の特徴】

- ・岐阜県の中央部に位置し、国有林野は長良川の源流部から下流部の岐阜市にかけて点在している。集中豪雨災害等により森林整備に対する関心が高まる中で、広域にわたる流域の水源、山地災害防止としての役割を担うため、国有林野面積の98%が保安林に指定されている。
- ・金華山等の都市近郊林は、身近な森林として憩いの場を地域住民に提供しており、大日ヶ岳周辺の森林は、自然観察やスキーなどレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。

【人工林の齢級別面積】



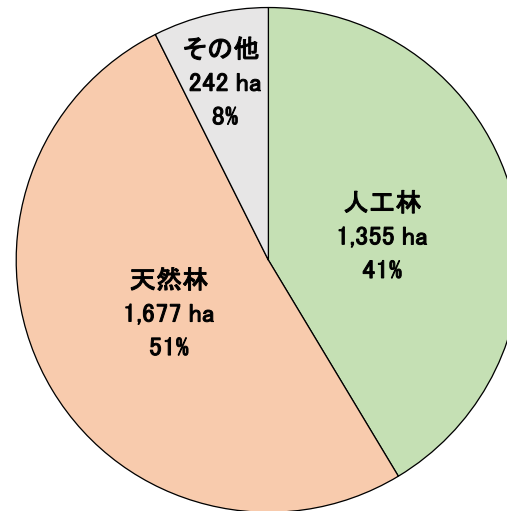
2 策定する森林計画区の概況

尾張西三河 (国有林野面積：3,275ha)

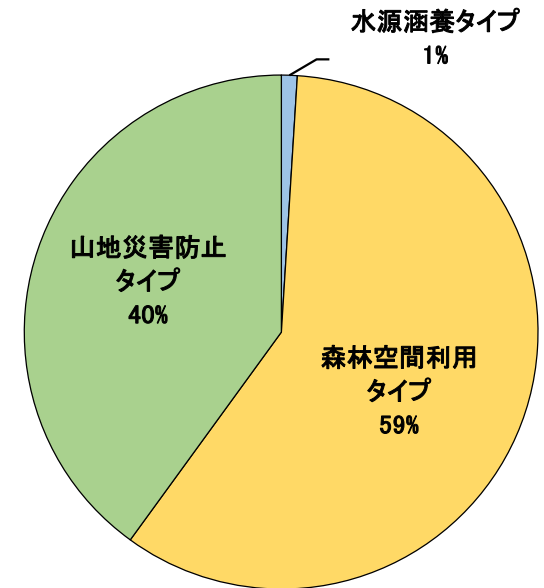
【国有林野の位置】



【人工林、天然林別の面積】



【機能類型別の面積】

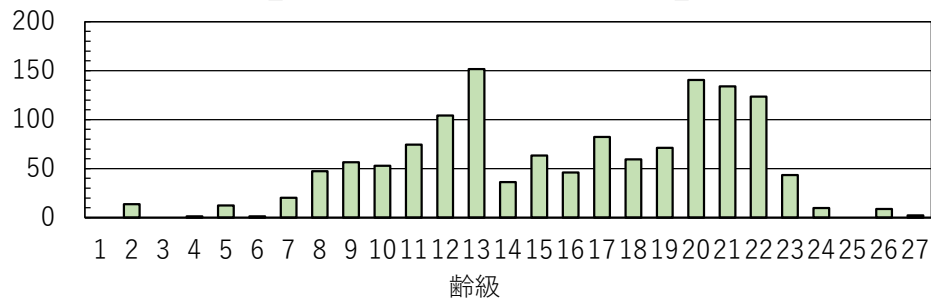


【森林計画区の特徴】

- ・ 愛知県内における矢作川、庄内川、木曾川の上流部に位置している。
- ・ 自然景観に恵まれた地域については、飛騨木曾川国定公園や愛知高原国定公園等に指定されているとともに、自然観察の場としてレクリエーションの森なども整備され、森林浴等保健休養の場として多くの人々に利用されている。
- ・ 国有林野の保安林率は94%

面積(ha)

【人工林の齢級別面積】



3 現計画の実績と評価

中部山岳

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	実績	実行率	備考
主伐	132,495	46,517	35%	豪雨災害により一部伐採を見合わせ
間伐	159,865	105,923	66%	林分状況を踏まえた伐採率の低減

※ 令和7年度分の実績は実行予定を計上。

※ 現計画の主伐量は臨時伐採量を含めた数値。実績の臨時伐採量は主間伐それぞれ含まれている。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	実績	実行率	備考
人工造林	155	73	47%	主伐箇所への減少
天然更新	5	0	0%	(同上)
下刈	933	279	30%	(同上)
除伐ほか	163	50	31%	林分状況を踏まえて実施

【林道】

(単位: 開設:m, 改良:箇所)

	現計画	実績	実行率	備考
開設	800	0	0%	他の計画区を含め優先度の高いものから実施
改良	20	13	65%	(同上)

3 現計画の実績と評価

長良川

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	実績	実行率	備考
主伐	19,223	17,565	91%	分収林を含む立木販売の入札不調等
間伐	14,777	12,063	82%	林分状況を踏まえた伐採率の低減

※ 令和7年度分の実績は実行予定を計上。

※ 現計画の主伐量は臨時伐採量を含めた数値。実績の臨時伐採量は主間伐それぞれ含まれている。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	実績	実行率	備考
人工造林	19	10	53%	主伐箇所への減少
天然更新	—	—	—	
下刈	27	4	15%	(同上)
除伐ほか	65	29	45%	林分状況を踏まえて実施

【林道】

(単位: 開設:m, 改良:箇所)

	現計画	実績	実行率	備考
開設	869	0	0%	他の計画区を含め優先度の高いものから実施
改良	9	1	11%	(同上)

3 現計画の実績と評価

尾張西三河

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	実績	実行率	備考
主伐	2,644	2,142	81%	ほぼ計画どおりに実施
間伐	23,356	22,855	98%	ほぼ計画どおりに実施

※ 令和7年度分の実績は実行予定を計上。

※ 現計画の主伐量は臨時伐採量を含めた数値。実績の臨時伐採量は主間伐それぞれ含まれている。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	実績	実行率	備考
人工造林	12	6	50%	当期更新件数の減少 (次期計画期間内で更新)
天然更新	—	—	—	
下刈	66	26	39%	当期更新件数の減少
除伐ほか	11	13	118%	林分状況を踏まえて実施

【林道】

(単位: 開設:m, 改良:箇所)

	現計画	実績	実行率	備考
開設	1,600	51	3%	他の計画区を含め優先度の高いものから実施
改良	6	1	17%	(同上)

4 新計画における主要事業の計画量

中部山岳

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	新計画	新/現
主伐	132,495	106,346	80%
間伐	159,865	190,654	119%
計	292,360	297,000	102%

※ 主伐量は臨時伐採量を含めた数値。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	新計画	新/現
人工造林	155	152	98%
天然更新	5	—	—
下刈	933	670	72%
除伐ほか	163	110	67%

【林道】

	現計画	新計画	新/現
開設 (m)	800	3,000	375%
改良 (箇所)	20	15	75%

【治山】

(単位: 箇所)

	現計画	新計画	新/現
溪間工	18	20	111%
山腹工	15	12	80%
その他	—	2	—

※ 箇所は単位流域数

4 新計画における主要事業の計画量

長良川

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	新計画	新/現
主伐	19,223	11,472	60%
間伐	14,777	25,528	173%
計	34,000	37,000	109%

※ 主伐量は臨時伐採量を含めた数値。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	新計画	新/現
人工造林	19	8	42%
天然更新	—	—	—
下刈	27	121	448%
除伐ほか	65	3	5%

【林道】

	現計画	新計画	新/現
開設 (m)	869	3,400	391%
改良 (箇所)	9	13	144%

【治山】

(単位: 箇所)

	現計画	新計画	新/現
溪間工	3	1	33%
山腹工	3	2	67%
その他	—	—	—

※ 箇所は単位流域数

4 新計画における主要事業の計画量

尾張西三河

【伐採】

(単位: m³)

	現計画	新計画	新/現
主伐	2,644	6,707	254%
間伐	23,356	19,293	83%
計	26,000	26,000	100%

※ 主伐量は臨時伐採量を含めた数値。

【更新・保育】

(単位: ha)

	現計画	新計画	新/現
人工造林	12	5	42%
天然更新	—	—	—
下刈	66	24	36%
除伐ほか	11	23	209%

【林道】

	現計画	新計画	新/現
開設 (m)	1,600	1,000	63%
改良 (箇所)	6	4	67%

【治山】

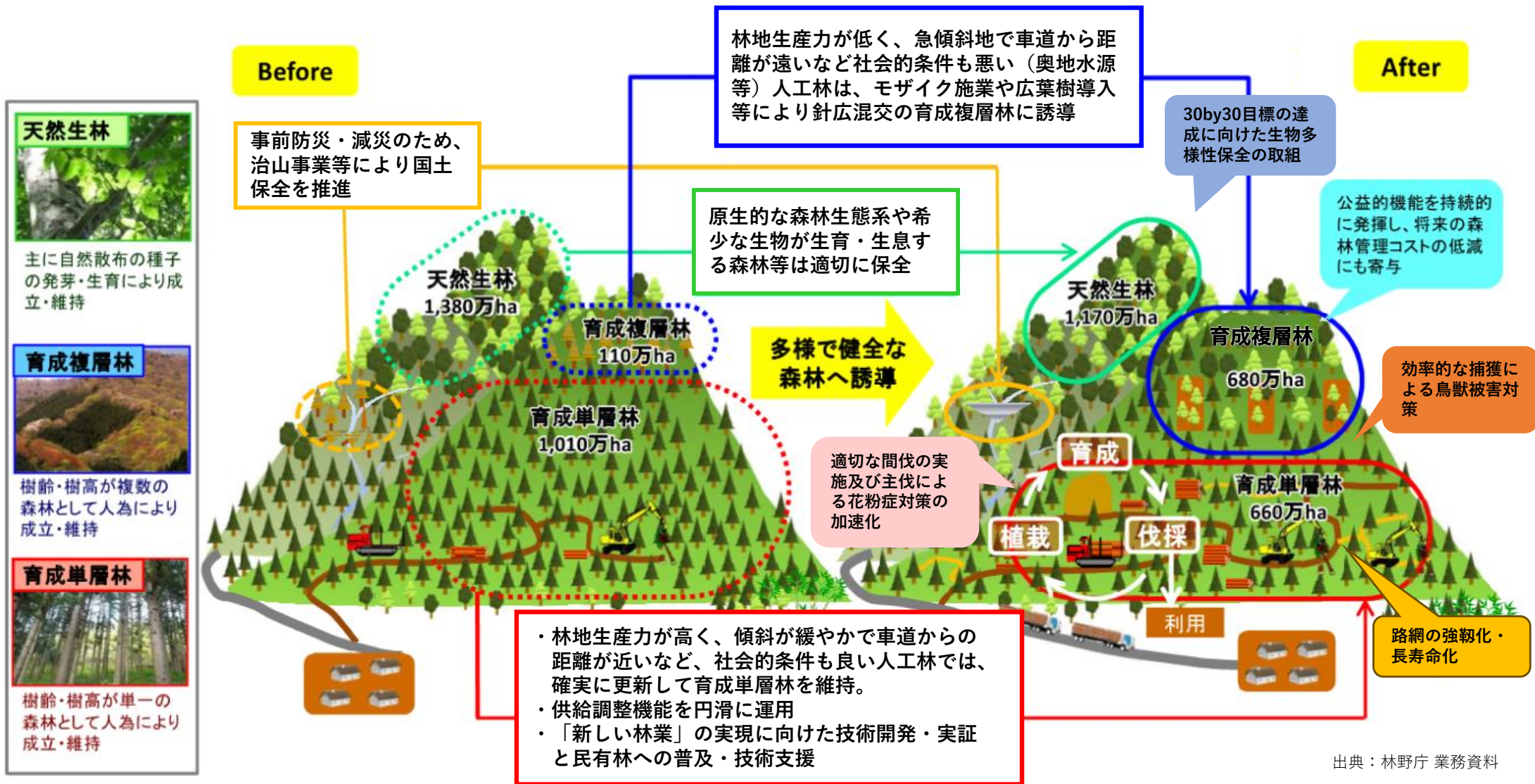
(単位: 箇所)

	現計画	新計画	新/現
溪間工	5	5	100%
山腹工	1	2	200%
その他	1	1	100%

※ 箇所は単位流域数

5 策定計画におけるトピックス

(1) 「国有林野の管理経営に関する基本計画（令和5年12月策定）」を踏まえた各種取組の推進



5 策定計画におけるトピックス

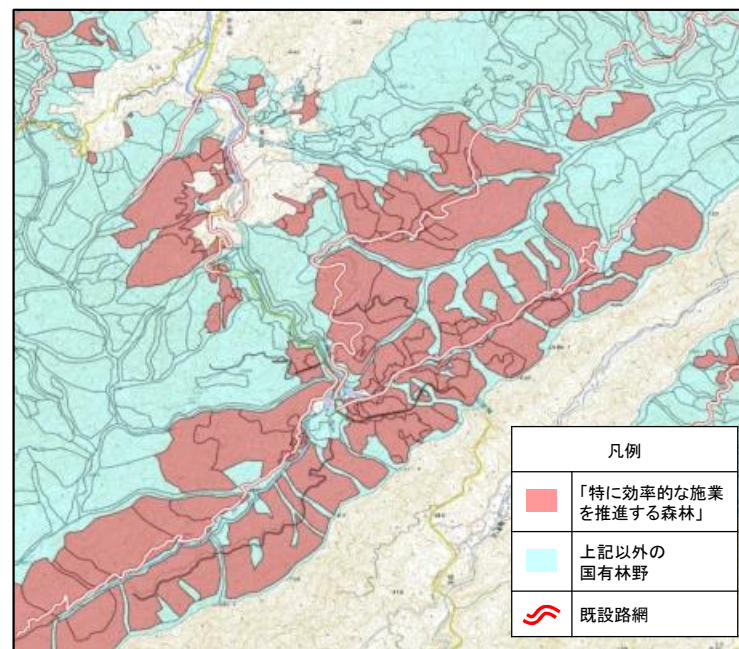
(2) 育成単層林を維持

- ・ 公益重視の管理経営を推進しつつ、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い人工林を特定。効率的な施業の実施や民有林への普及、担い手の育成等の取組を効果的に進める。



- ・ 機能類型が水源涵養タイプの人工林のうち、林道等からの距離が近く、地位が比較的高く、傾斜が比較的緩い森林を「特に効率的な施業を推進する森林」として設定。
- ・ 「スギ植替重点促進区域」では積極的に主伐を計画。
- ・ 木材の安定供給に資する林道の機能強化
- ・ 分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

○「特に効率的な施業を推進する森林」の設定イメージ



出典：令和5年12月 林政審議会資料

5 策定計画におけるトピックス

(3) 育成複層林への誘導

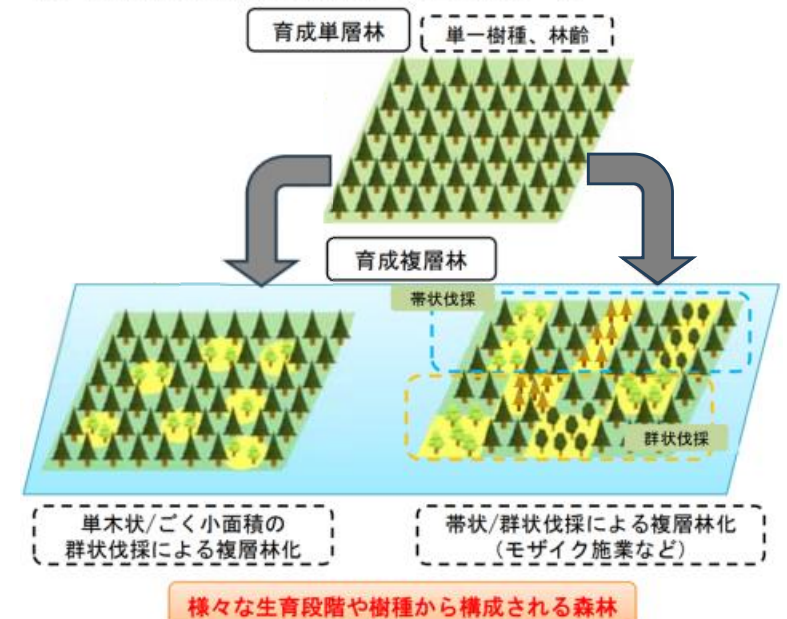
- ・一定の広がりにおいて、様々な生育段階や樹種から構成される森林がモザイク状に配置されている「指向する森林の状態」を目指し、多様な森林整備を推進。



- ・森林計画の策定段階において、積極的に育成複層林へ誘導。

森林計画区	複層林造成面積	
	(現計画)	(新計画)
中部山岳	40ha	103ha
長良川	—	—
尾張西三河	—	—

○ 育成単層林から育成複層林への誘導イメージ



5 策定計画におけるトピックス

(4) 林地保全に配慮した施業の推進

- 土砂災害警戒区域（土石流）の上流域など人命・施設への被害のおそれがある森林※1について、機能類型を水源涵養タイプから山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア）へ変更。

※1 山地災害危険地区に該当する箇所及び土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の範囲



出典：(一社)日本治山治水協会、編集：(一社)全国林業改良普及協会

- 急傾斜地など作業道等の作設が不適切な森林については「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林（以下、保搬特という。）※2」に設定し、搬出方法を原則として架線集材によることで、山地災害リスクを軽減。

※2 「国有林の地域別の森林計画」において設定



架線集材



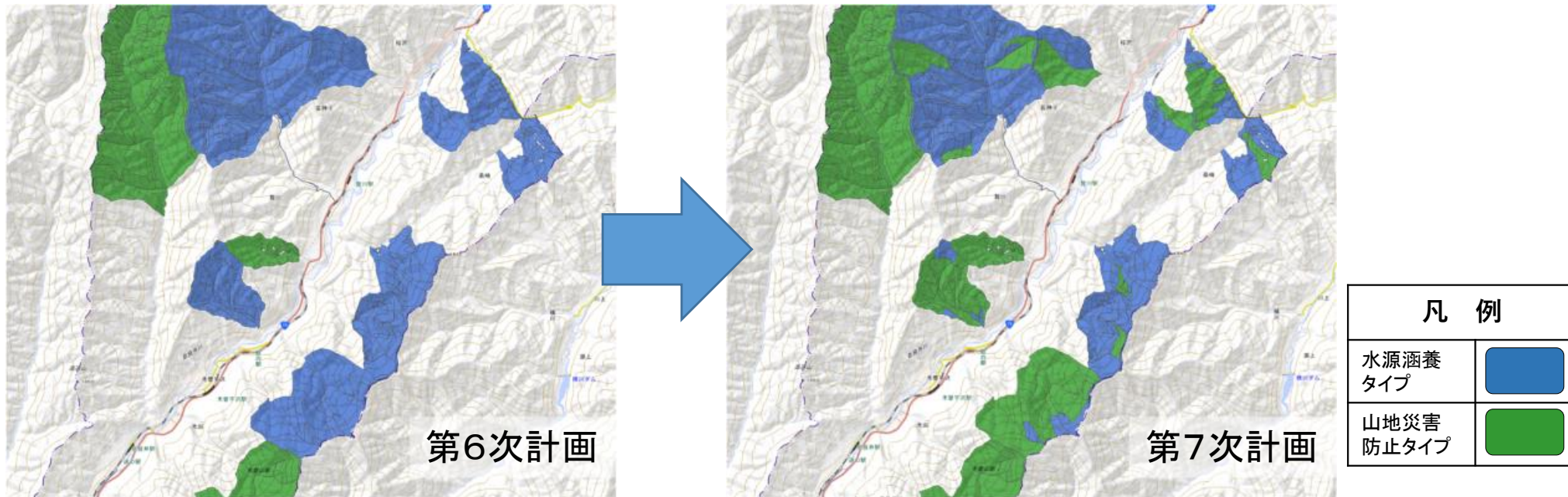
油圧式集材機

5 策定計画におけるトピックス

(4) 林地保全に配慮した施業の推進

森林計画区	山地災害防止タイプ (土砂流出・崩壊防備エリア)の割合		保搬特
	(現計画)	(新計画)	
中部山岳	53%	55%	3,432ha
長良川	51%	59%	199ha
尾張西三河	39%	39%	186ha

【参考】機能類型の変更イメージ：中部山岳森林計画区



6 R7年度に変更する森林計画区



【変更する森林計画区】

- ・神通川（富山県）
- ・千曲川下流（長野県）
- ・千曲川上流（長野県）
- ・伊那谷（長野県）
- ・木曾谷（長野県）

7 変更計画について

【神通川】 治山に関する事項について、治山事業の保全施設整備の推進を図るため変更。

工 種 (箇所)	溪間工	山腹工	その他	
	12	5	2	変更前
	13	5	2	変更後

【千曲川下流】 木の文化を支える森「戸隠竹細工の森」について、安定供給のため協定区域を拡大。

名 称	面積 (ha)	位置 (林小班)	
戸隠竹細工の森	391	戸隠山国有林1030 ～ ほか	変更前
	411	戸隠山国有林1030 ～ ほか	変更後

【千曲川上流】 治山に関する事項について、治山事業の保全施設整備の推進を図るため変更。

工 種 (箇所)	溪間工	山腹工	その他	
	27	16	—	変更前
	27	19	—	変更後

【伊那谷】 治山に関する事項について、治山事業の保全施設整備の推進を図るため変更。

工 種 (箇所)	溪間工	山腹工	その他	
	21 (南信10,伊那谷11)	17 (南信8,伊那谷9)	—	変更前
21 (南信10,伊那谷11)	18 (南信8,伊那谷10)	—	変更後	

【木曽谷】 治山に関する事項について、治山事業の保全施設整備の推進を図るため変更。

工 種 (箇所)	溪間工	山腹工	その他	
	29 (木曽19,南木曽10)	29 (木曽17,南木曽12)	—	変更前
29 (木曽19,南木曽10)	30 (木曽17,南木曽13)	—	変更後	

8 変更計画におけるトピックス

木の文化を支える森

歴史的な木造建築物や伝統工芸などの「木の文化」を後世に継承していくため、必要な木材や樹皮などの資材を供給する森林として、地域の協議会などと森林管理署長などが協定を結び、活動のフィールドとして活用する制度。

・戸隠竹細工の森

戸隠竹細工の森づくり協議会が北信森林管理署戸隠山国有林で、伝統工芸品である竹細工に使用するネマガリダケ（チシマザサ）を継続的・安定的に確保するため、除伐や歩道修理など保護と育成を実施している。今回、テング巣病の発生による収穫量減少を危惧し、安定供給を確保する観点から協定区域の拡大をする。



※テング巣病によりハウキ状に枝分かれしたタケ

